

リトルワールド 学芸通信①(2020年度)



～春休み限定「青空教室」を開催しました～

リトルワールドでは、3月24日(火)から小中学生向けに、学芸員による がくげいいん やがいてんじかおく 野外展示家屋について レクチャーを行いました。



3月24日(火) ポリネシア サモアの家にて



▲テレビ取材もあり、学芸員も気合が入っています。

▲木の飾りはカヌーを表しているそう。

熱帯雨林気候のサモアでは、
暑さをしのぐため、風通しの良い
家の作りになっています。

家はヤシ繩で結束して建てられますが、子どもたちは原料となるヤシの実に実際に触ってみて、興味津々の様子でした。



3月25日(水) ネパール 仏教寺院にて



ネパールの仏教寺院は、ヒマラヤ山脈に建てられたチベット仏教の寺院であり、日本の寺院とはつくりや仏具の違いがあります。

青空教室ではクイズに答えたり、マニ輪やシンギングボウルといった仏具体験を行いました。



▲ネパールの国あてクイズの様子。皆さんネパールがどこかわかりますか？



▲時計回りに回すと1億回お経を唱えたことと同じ意味を持つマニ輪。様々な大きさのものがあるようです。

～ミクロネシア ヤップ島の家を補修しました～



ビ
フォ
ー！

新しい屋根材で葺き替えました！



ア
フ
タ
ー！

2020年3月、ヤップ島の家、主婦の炊事場の補修が完了しました。ヤップ島の社会は男女の区別が厳しく、夫婦と子どもが住む母屋の生活空間も分けられています。また炊事場も男女別々で、未婚の女性は別棟の小屋に住み、男性の若者は、村の集会所で寝泊まりをしています。

ヤップ島の家は、本来、ヤシ繩で家屋の各部を固定し、釘は一切使わない方法で建てられます。また、マングローブ林から切り出した材木や、材竹は一度海水を浸み込ませて使いますが、こうすることで虫食いを防ぐ効果があります。

リトルワールド 学芸通信②(2020年度)



4月上旬～青空教室を開催しました！

4月1日(水) 沖縄県 石垣島の家

3月末にひきつづき、学芸員による青空教室を行いました。

青空といいつつも、当日は生憎の雨模様。にもかかわらず集まって下さったみなさん、ありがとうございました！



4月2日(木) 南アフリカ ンデベレの家

前日とは打って変わっての晴天に恵まれ、多くの方の参加をいただきました！

学芸員も手作り資料を持参して気合を入れましたが、遠くの方からは少々見づらかったかもしれません。マイクトラブルも重なってしまい、失礼いたしました。



★青空教室のおさらい★ ンデベレ壁画のデザイン

ンデベレの壁画は女性たちが描きます。幾何学模様のデザインが特徴的ですが、そのモチーフになっているのは、日々のくらしで目にしたり使ったりするモノやコト。

描き手さんの発想力の高さや、色彩感覚の豊かさが伝わってきます。



▲ウムテーチョ(レンガの模様)



▲チエファンナ(両刃カミソリのモチーフ)



▲インドゥル(家)

家からでもリトルワールドの展示が楽しめる 「おうち DE リトル」計画が進んでいます！

家にいながらもリトルワールドの展示を
楽しみながら学ぶことができる、そんな
コンテンツを絶賛準備中です！

家でできる世界のゲームの遊び方や、
学芸員による展示家屋・資料の紹介動画、
そしてここでしか語られないちょっとした
裏話…？ などなど、豊富なコンテンツを
予定しています！ 動画は、YouTube 等で
の公開を予定しています。



学芸スタッフも、普段とは違った動画
撮影などの作業に精を出しています。



その他にも、リトルワールド公式
Twitter などではリモートワーク用
の背景画像などを配信中♪

要チェック！



リトルワールド公式
Twitter はこちら



動画でしか観られない
学芸員の意外な姿も……!?



公開をお楽しみに！

リトルワールド 学芸通信③(2020年度)

休館期間の博物館活動

新型コロナウイルス流行の影響で、リトルワールドもしばらく休館していましたが、オープンしていなくても、博物館業務は続きます。どんなことをしていたかというと…

★野外家屋の修繕・補修作業

休館中であっても、野外家屋のメンテナンスは必要な業務のひとつ。家屋の清掃等に加えて、この日は、「バリ島 貴族の家」の飾り旗用の 竿 が折れてしまっていたので、新しく交換して貼り直しをしました。他にも鳥やハチの巣撤去など、野外家屋のメンテナンス業務は多岐にわたります。



▲新しい竹竿に旗を取り付けたあと、他の旗とのバランスをとるために、竿の長さを調節して再設置しました。

★展示資料への防虫剤入れ替え

展示中の資料は、常に虫害への危険にさらされています。貴重な布・毛皮資料を守るために、こまめに防虫剤の入れ替えを行っています。そこで、暖かくなる前に本館展示室にて展示中の資料(布、毛皮類が中心)にしこんでいる防虫剤を入れ替える作業を行いました。

とくに時間がかかったのは、ミューズギャラリーの「文化のタペストリー」と、第2展示室「技術の部屋」。まる3日かかりで何とか終えることができました。

★民族資料の燻蒸作業

今まで展示していたものの一旦撤収した民族資料や、新しく収集した資料には、補修などのメンテナンスを終えたのち、燻蒸(くんじょう)という殺虫処理をおこないます。専用の燻蒸室に入れ、CO₂濃度を上げることで資料に悪影響を与える虫や虫の卵などを殺虫したあとは、収蔵庫に戻したり、再展示をしたりします。

ほかにも、収蔵庫にある資料についても定期的に状態を確認し、必要であれば防虫剤を交換したり、メンテナンスをしたりしながら日常的な管理を続けています。

YouTube 動画「教えて！学芸員さん」公開中です！

休館中におうちでリトルワールドの展示を楽しんでもらえたら…

という思いから始めた学芸による展示解説動画を

YouTubeで公開しています。

今後も定期的にアップロードしていく予定です。

多少緊張していたり、ぎこちなかつたりですが、

温かい気持ちで視聴していただければ幸いです★

URL: <https://www.youtube.com/user/littleworldthemuseum>



学芸コラム

緊急企画★

フィールドワークよもやま話～病気やけがのときは、どうするの？

新型コロナウイルスの流行により、世界各国・各地がこの新しい感染症に振り回されています。日々の報道によって、日本だけでなく海外での感染症の拡大について、各国の医療体制についての情報を目にする機会が増えました。普段は気に留めていなかった生活習慣や、緊急時にとるべき対応、頼るべき機関や施設などを深く意識した方も多いのではないかと感じています。

リトルワールドの学芸員は、調査地は異なりますが、これまで文化人類学のフィールドワークを続けてきました。今回は、それぞれの経験から、海外でフィールドワークをしているときのエピソードを「病気やケガ」といったキーワードで語ってみました。

学芸員 M ～虫との闘い

・私はオセアニア地域の島々に調査で赴くことがあるのですが、無数の蚊やアリに悩まされることがかつて多々ありました。調査中はヤシの葉で葺かれたローカルハウスで生活しますが、日本の家屋と違って屋根も壁も隙間だらけで、蚊やアリは普通に入ってきます。日が昇っている間は大人しくしているのですが、夜が近づいてくるととたんに騒ぎ出します。一晩中、無数の蚊が飛び交い、アリが這い周る部屋で寝なければならない状況を想像できますか？まだ熱帯地方での生活のノウハウがなかった頃は、毎晩 50 ヶ所以上も刺されたり噛まれたりと洗礼を受け続けました。その痒みは所謂「発狂」しそうなレベルです。

しかし最も恐ろしいことは、虫がジッカ熱などの病原菌を媒介する存在であることです。

私がとある年に 2 週間調査に赴いたミクロネシア・ヤップ島では、その間島民の

およそ 3 分の 1 がジッカ熱に伏していました。

今思えば無謀にも虫除け薬や蚊取線香を持参することなく滞在し、

病気にかかることもなくよく無事に帰国できたものです。

以後、熱帯の島々を訪れる際には、必ず虫除け薬と蚊取線香(高性能電動回転式)を持参しています。



学芸員 G ～備えが何より大事！

・アフリカ（熱帯地域）に居た時のことです。虫刺されは日常茶飯事。両足がパンパンに腫れた（謎の）虫刺されも辛かったですが、やはり悪性マラリアで緊急入院した時が一番辛かった思い出です。日本では予防薬が手に入りにくいため現地薬局で購入し服用していましたが、運悪く発症してしまいました。日本の病院とは違い入院時に治療薬や注射器などを一括で購入する必要があったり、毛布や入院着、病床での食事などもすべて自分で用意しなければならなかったり、戸惑うこと多かったです。40°C近い熱で朦朧とするなか、現地の友人が親身にサポートしてくれたおかげで何とか生還できました。

・同地域で調査をしている研究者とよく話題に上るのが、交通事故。現地では廃棄寸前の中古車両が現役で活躍していますが、それだけ車の故障リスクも高いということ。ドライバーの運転も荒く、ハイウェイの道端には事故車両をよく見かけました。乗り合いバスで長距離移動するときは、どのバス会社がより安全で優秀かのリサーチが大事でした。リスクを想定しての準備が何事にも大切だと学びました。

学芸員 Y ～「なんでも食べる」はほどほどに

・とある遊牧民の家にお邪魔していた時のことです。次から次へと出される食べ物をすべておいしいおいしいと言いながら食べたところ、次の日の朝、とてつもない腹痛と吐き気、そして発熱が。町が比較的近く（車で 4 時間）だったため病院に連れて行ってもらったところ、なんと急性胃腸炎。どうやら前日に食べたものが、慣れていない人にはダメな食べ合わせのものだったらしいです。

そうして私はその国で人生初の点滴を受けたのでした……。

ちなみに一緒にフィールドに行っていた人達から「あいつは食い意地張って腹を壊したらしい」と認識していました。



リトルワールド 学芸通信④(2020年度)

参考になるかも?! 世界の虫 対策

本格的な夏の到来^{とうらい}! この時期に悩^{なや}まされるのが、虫さされ。
世界の人々は、どんな対策をしているのでしょうか?!

★蚊帳

日本でもかつては夏のくらしに欠かせない道具だった蚊帳は、
アジアやアフリカなど世界の熱帯地域で広く活躍^{かつやく}しています。
右の写真はランナータイで撮影^{さつえい}したものですが、展示家屋の寝室
でも同様に再現^{さいげん}しています。ちなみに、ランナータイでよく使われる
蚊帳は中国製が多いようです。



★蚊に効く!ヤシ殻スモーク(ミクロネシア ヤップ島)

ヤップ島の人々は、ヤシの殻を燃やして出た 煙^{けむり}を蚊よけに使います。

ついでに魚や魚介類を焼いて調理も 兼ねたら一石二鳥★
ちなみにココナッツオイルを肌に塗^ぬっておくと、
蚊に刺^さされにくくなり、もし刺されても 痒^{かゆ}みも 抑^{おさ}えられるとのこと。



肌に優しいと日本でも 評判^{ひょうばん}のココナッツオイルは、現地では
様々な場面で 老若男女^{ろうにやくなんにょ}問わず愛用されています。

番外編★牛糞(インド)

インドでは牛を神聖な動物として大切にしますが、牛糞もまた聖なるものであり 済^{じよう}化作用を持つとされています。糞には虫よけの成分が含まれるとして、床や 壁^{かべ}用の土に牛糞を混ぜ塗り込みます。牛糞を床や壁に使用するのは、インドだけでなくアフリカ(当館の展示家屋だとニヤキュウサや、かつてのンデベレでも使用していました)でも見られます。

予告!

7/23(木)~10/4(日) 期間限定ラリー「お宝画像をゲットせよ!(仮)」

暑い日盛りにオススメの、冷房の効いた本館展示室をめぐる
ラリーイベントを開催します! 展示室各所に設置したポイントをたどって、
SNSなどで使用できるリトル特製画像を集めましょう♪
リトルワールドならではの画像が、あなたのSNSを個性的に彩ってくれるハズ…?!さらにポイントごとに「キーワード」を集めると、
学芸員おすすめのスペシャル画像(ご利益あるかも?!)が入った
ボックスへ辿りつくことができますよ!
ゲットした画像は、ぜひいろんな場面で使ってくださいね!



YouTube動画「教えて! 学芸員さん」公開中です!

休館中におうちでリトルワールドの展示を楽しんでもらえたら…
という思いから始めた学芸による展示解説動画を
YouTubeで公開しています。
今後も定期的にアップロードしていく予定です。
多少緊張していたり、ぎこちなかつたりですが、
温かい気持ちで視聴していただければ幸いです★
URL: <https://www.youtube.com/user/littleworldthemuseum>



展示紹介—本館展示室第4室「社会の部屋」装身具

①ケニア/ボゴット人

1つ目はボゴット族の首飾りの展示です。これは**乳児用**、**少女用**、**未婚女性用**、**既婚女性用**とわかっています。母から娘に、そして妹たちに与えられます。

②インドネシア/バリ島

2つ目はインドネシア、バリ島の結婚式の展示です。

鮮やかな衣装にきらびやかな装飾です。新郎新婦は頭飾り、腕輪など金飾りをつけます。写真では見えませんが、新郎の背中には聖剣が刺されています。ぜひ確認してみてください！

③インド/グジャラート州

3つ目はインドの結婚式の展示です。主に村落の女性が財産として身に着けるものです。

かつては、持参財の多さにより嫁の立場が保証されるとも考えられていました。

腕輪、首飾り、指輪、耳飾りなど様々な種類があり、ほとんどが銀でできています。



①ボゴット人 首飾り



②バリ 新郎新婦の装い



③グジャラート州 銀の装身具

キラキラ
ゴージャス！



④ベドウィン 首飾り

④シリア/ベドウィン人

4つ目はシリアのベドウィン人の展示です。

女性がついている首飾りはビーズ製です。シリアでは金属製の装身具が多く、この首飾りのようなビーズ製はめずらしいです。

⑤シアシ諸島/パプアニューギニア

5つ目はパプアニューギニアです。胸飾りや首飾り、頭飾りなど展示されています。貝殻は富と力の象徴とされています。

胸飾りは儀礼祭宴の舞踏(narogo)時に使用されます。

胸飾りは主に男性が使用します。大きな頭飾りは火食鳥の羽でできています。

火食鳥の羽毛は男性の装飾品の中でも一級の貴重品であるとされています。



⑤パプアニューギニア 首飾り、胸飾り

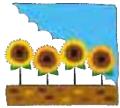


⑤パプアニューギニア 頭飾り

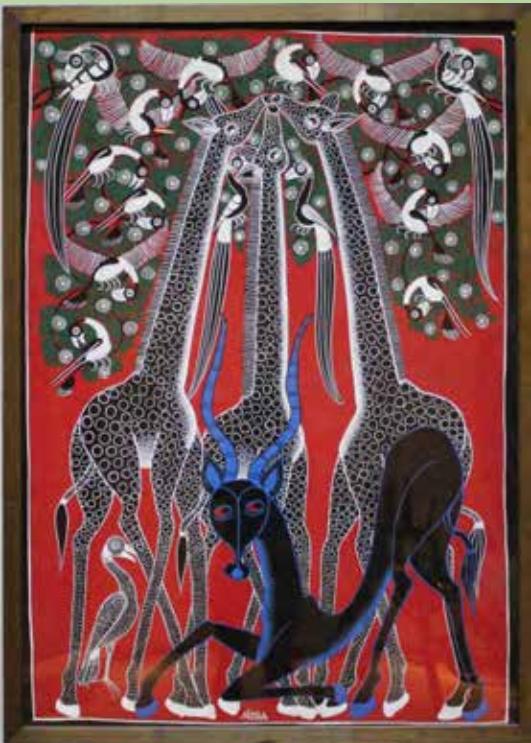
美しく身を
飾りたい心は
世界共通
なのかも！



リトルワールド 学芸通信⑤（2020 年度）



ティンガティンガを見てみよう！



「キリンとインパラと鳥」 作:アジャバ

ティンガティンガとは？

ティンガティンガとは、1960 年代後半にタンザニアのエドアルド・ティンガティンガによって生み出されたアートの手法です。建築資材にエナメルペイントによって描かれたものが始まりで、とても色鮮やかな作品が特徴的です。題材も動物や植物などが多く、本館に 3 点の作品が展示されています。

左の作品には 3 頭のキリン、オスのインパラ（アフリカ東部・南部に分布する）、鳥が生き生きと描かれています。



▲ンゴロンゴロ保全地域



▲インパラ

タンザニアってどんな国？

タンザニア(正式名称:タンザニア連邦共和国)は東アフリカに位置するインド洋に面した国です。日本の約 2.5 倍の面積をもち、スワヒリ語・英語が公用語として話されています。マサイをはじめ約130もの様々な民族が居住しています。ンゴロンゴロ保全地域などの世界遺産や、コーヒー、カシューナッツの生産が有名です。ンゴロンゴロ保全地域にある巨大クレーターには約 2 万 5000 頭の動物が暮らしており、「世界最大の動物園」と言われています。

野外展示・アフリカンプラザに行ってみよう！

リトルワールドでは2019年の 12 月にティンガティンガアーティストを招き、ティンガティンガ体験イベントを行いました。その時の作品の一部をアフリカンプラザに展示しています。ぜひご覧ください！

«参考文献»

・TingaTingaArt <https://www.tingatinga.org/>・週刊世界遺産 No.37(講談社、2005.04.12 発行)





リトルワールド 学芸通信⑥(2020年度)

リトルワールドで見られる魔よけ・厄よけ

ミューズギャラリーでは、8月8日から10月4日の間「世界の魔よけ、厄よけ展」と題して日本をはじめ世界の様々な民族・地域の魔よけ・厄よけにまつわる資料を展示しています。一方、野外展示場でも実際に魔よけ・厄よけがみられる家屋が多く展示されており、間近にそれらを見ることができます。今回は、その一部を紹介しますので是非展示と併せてご覧になってください。

➤ トルコ イスタンブールの街 民家



世界の魔よけ・厄よけ展の中でもひときわ目を引く、目玉をかたどった青いガラス玉「ナザールボンジュ」は、トルコで最も一般的な邪視よけのお守りです。妬みや恨みといった悪意をもった視線を避けるために玄関などにかけられます。

野外展示場の民家の玄関に大きなタイプが飾ってあるので、ぜひご覧ください。

▲イスタンブールの街 民家 玄関上のナザールボンジュ

➤ 北海道 アイヌの家

野外展示のアイヌの家にはチセコロカムイという、家の守り神が置かれています。チセコロカムイは柳の刀と槍をもち、魔物を追い払う、力強く勇ましい神様です。

しかし、もし家族に災いが起きた時には、役目を怠ったとみなされ、壊されて神の国に追い返されるという運命にあります。



▲アイヌの家 チセコロカムイ

➤ バリ島 貴族の家



バリ島貴族の家では、様々な場所に魔よけの像があります。中でも中門の上に彫られたボマという守り神は、ヒンドゥー教の神様の一つです。恐ろしい顔と共に、開いた両手は拒絶を表し、悪霊を寄せ付けないとされています。また門は、聖なる山を象徴し、屋敷の外を徘徊する悪霊を遮るとされています。

ボマをはじめとした多くの守り神に守られているため、バリ人は屋敷で安心して過ごすことができるのです。

◀バリ島 貴族の家 中門とボマ

➤ 台湾 農家

台湾において家を建てる際は、様々な風水思想を元に家の配置を決めています。リトルワールドの台湾の家も風水思想に基づいた配置で建てられています。

他にも門環もんかんと呼ばれる扉の金具は、部屋の中に悪霊を入れないようにする役割を持っていたり、直進して侵入する邪気や悪霊を防ぐため扉の窓が斜めに開いていたりと、家全体が魔よけ・厄よけを意識した造りになっています。



▲台湾 農家の家 門環

★ 他にもリトルワールドの家屋では様々な魔よけ・厄よけの工夫を実際に見ることができます。「世界の魔よけ・厄よけ展」では、園内で見られる魔よけ・厄よけを紹介したマップも掲示しています。ぜひ、探してみてください。

展示家屋紹介 ネパール～タキシンド寺院～

ネパールは南はインドと北は中国（チベット）と隣り合う南アジアの国です。国土の南部はガンジス川が流れる一方で、北部は世界一高い山、エベレスト山を含むヒマラヤ山脈がそびえ立ちます。今回紹介するタキシンド寺院も、このヒマラヤ山脈の標高約3000mの位置に建てられた寺院です。



タキシンド寺院とは？



▲リトルワールドのタキシンド寺院。

タキシンド寺院はもともとヒマラヤ登山客のガイドや荷担ぎを営む、シェルパ人の信仰の場となったチベット仏教の寺院です。リトルワールドのタキシンド寺院は、現地の建築様式をできる限り近い形で復元する、形態復元として建てられました。チベット仏教はインドの金剛乘佛教の流れをくむもので、7世紀ごろ成立し、修行僧は生きたまま悟りを得るために、視覚や聴覚に訴えるものを使い修行に励むという特徴があります。

タキシンド寺院の特徴～屋外編～

なびく様子。
▶中庭前に建てられた祈禱旗が



【祈禱旗（チャタル）】

上から青・白・赤・緑・黄の順でなびく旗はそれぞれ空・風・火・水・地を表しています。これは世界を構成する要素「五大」と言われています。またそれぞれの旗にはサンスクリット語でお経が書かれていますが、旗を風になびかせることによって、世界にありがたい教えを広めていこうとする意味があります。

【マニ輪】

マニ輪の表面には「オム・マニ・ペーメ・フム」という、マントラ（真言：短くてありがたい言葉）が描かれていてその中にはそのマントラが1億回記されたお経が入っています。このマニ輪を1周時計周りに回すと、1回お経を唱えたことと同じ意味を持ちます。



？クイズ？ どうしてマニ輪は作られたのだろう？

（答えはこのページの右下にあるよ！）

- ① なるべく短い時間でたくさんのお経を読む必要があったため。
- ② もともと楽器として使われていたものを再利用したため。
- ③ 文字が読めない人でもお経を唱えられるようにしたため。

▲様々な大きさのものがあり、中にはお経が入っています。

リトルワールド 学芸通信⑦（2020年度）



色deいろいろ、見るリトル



芸術の秋到来！^{とうらい}ということで、今回はいつもとちょっと違う
「色」の視点からみるリトルの楽しみ方をご紹介します。



▲ ぜひ、いろんな角度からトーテムポールをながめてみよう



アラスカ トリンギットの家

中央のトーテムポールが印象的な、夏の間は離れて生活していた一族が集まって冬を越すためのお家です。

リトルワールドで見ることのできるトーテムポールは 赤・青・黒 の3色のものと、赤・黒 の2色のものがありますが、アラスカやカナダではこの他に5色のものや、色を使わず彫刻のみで作られたトーテムポールなども見ることができます。



ヒント

2つのトーテムポールが見えるところまで安全に気をつけて移動してみよう。見くらべた時、どんなちがいがあるかな？
逆に似ているところはあるだろうか？さがしてみよう。



▲描かれた動物たちも要チェックだ!!



ネパール 仏教寺院

入口前、中央にある旗に注目してみましょう。旗の青・白・赤・緑・黄が、それぞれ空・風・火・水・地を表し、世界を構成する要素と言われています。

それぞれの旗にはお経が書かれていて、これは旗を風になびかせることによってありがたい教えを風に乗せて広める意味があります。



ヒント



旗を見た後は、おごそかな気持ちで寺院の中にも入ってみよう。
同じ色が見つかるかな？



ここにあるよ！

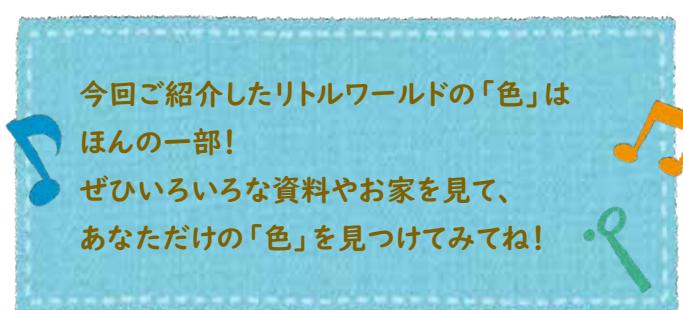


◀ 目玉をかたどったナザールボンジュ



トルコ イスタンブルの街 民家

今ではおなじみとなったトルコの街並み！
家屋の外装であるうすい黄緑色のペンキ壁をはじめ、実際にトルコで19世紀末に建築されたイスタンブルの伝統的な民家をモデルとして復元されました。
玄関上のお守りの役目も持つ「ナザールボンジュ」と、窓枠の白色もみどころのひとつ。



▲家の「内装」とも見比べてみよう！

リトルワールド 学芸通信⑧(2020年度)



展示家屋紹介 インドネシア～バリ島貴族の家～

インドネシアのバリ島はジャワ島の東に位置する小さな島で、3000m級の火山がそびえ立ちます。バリ島では、^{どしゃく}土着の文化にインドからジャワ島などを^{けいゆ}経由してわたってきたヒンドゥー文化が流れ込んだ^{どくとく}独特な文化を形成しています。



◆バリ島貴族の家について　—建物の配置から見えるバリの世界観—



▲バリ島貴族の家の外観図

バリ人の住む家は、^{へい}堀で囲まれた四角い敷地にいくつかの建物が建ち並ぶ屋敷地の形態をとっています。その建物の配置には決まりがあり、内壁によって3つの区画に分けられます。

一番奥の北東の区画には、^{そせん}祖先や神様を祀る^{まつ}祠^{ほこら}があります。これは島の南部に住む人にとって北部に位置する山は神聖な空間であり、また東は太陽が昇る聖なる方角と考えられているからです。



◀左の写真から



中央の区画は日常生活の場であり、さらに手前の南の区画には台所が置かれます。台所は動物の殺生を行ふ不淨の場であるため神聖な方角と反対に置かれるという理由の他に、火を扱う台所の守護神ブラフマ神がバリの人々の世界図で南に配置されるからでもあります。

◆バリ島貴族の家の見どころ　—バリ独特の信仰と文化—



●割れ門

バリのヒンドゥー寺院独特の門でチャンディ・ブンタールと呼ばれます。本来は寺院の入り口に建てられる大きな門ですが、その大きさは神聖な山を表しています。またこの山を2つに裂いたようなかたちの表面には、精巧な彫刻が施されています。

●儀礼の建物

生活の中心となる重要な場所で、誕生日祝い、成人のときの歯を削る儀礼、結婚式などがあこなわれます。また儀礼の建物の梁の上には神鳥ガルーダ像が置かれています。ガルーダは、ヴィシュヌ神の乗り物とされバリの人々に信仰されています。



11月に開催される世界のお祭り(インド編)

毎年おこなわれていたイベントが、今年は開催、参加できないものが多くあると思います。

来年は開催、参加できると信じて、11月にインドで開催されるお祭りを紹介します！



・プシュカールキャメルフェア（ラジャスタン州）

日程:毎年11月 約8日間

約20万人が来場する世界最大のラクダ市。約3万頭のラクダのほかに馬、ヤギ、羊などの家畜が取り引きされます。

宝石や腕輪、布で着飾ったラクダのコンテストや伝統競技、舞踏、人形劇、ラクダや馬のレース、
口髭の美しさ競う大会など様々なイベントが開催されます。

プシュカールはヒンドゥー教の聖地の1つとされており、多くの巡礼者がこの時期に訪れます。
プシュカール湖に入りお祈りする姿も見られます。



▲飾られたラクダ
<https://yahoo.jp/D4GTSn>



▲踊る女性
<https://yahoo.jp/cLFRSK>



ラジャスタン州

・ディーワーリー

日程:10月下旬～11月上旬

ヒンドゥー教の新年を祝うお祭りです。1年の幸せと健康を祈ります。

インド最大の光の祭であり、ろうそくに光を灯すことは「光が闇に勝つ」ということを象徴しているとされています。

ディーワーリーは5日間にわたって行われ、4日目に新年を迎えます。

それぞれの日にちに名前がついており、3日目がラクシュミー・ブージャーと呼ばれ「富と豊かさの女神ラクシュミー」を祝います。

ラクシュミーを歓迎するために玄関の床に美しい砂絵(ランゴリ)を女性が描きます。

ディーワーリーの期間に、たくさんの華やかな花火がインド中で打ち上げられます。

しかし、近年では爆竹、花火などの使用により、大気汚染の深刻化が問題の1つとして取り上げられています。



<https://yahoo.jp/e4xBu4>



<https://www.tandem.net/ja/india-diwali-5-traditions>



左:光を灯す女性

右:伝統の砂絵 ランゴリ

リトルワールド 学芸通信⑨(2020年度)

～布の模様はどのように付けられる？～

普段私たちが身にまとう服には、さまざまな模様や装飾がつけられています。

ここでは本館で見ることのできるオススメの展示を紹介しながら、
代表的な模様のつけ方を探ってみましょう。

染色（せんしょく）

染料で布を染め、模様をつけることを染色といいます。染色で模様をつける方法には、下記のものなどがあります。

★紐や糸で布をくくって染料につけた後、水洗いして紐を解く方法

……綾纈・こうけち、絞りなど

★布を版木に挟んで紐でくくり染料につけて染める方法

……夾 纈・きょうけち、版木染めなど

★溶かした口ウを布につけて染料に浸し口ウがついていない部分を染める方法

……蠟 纈・ろうけちなど

纈は現在でも尾張の有松絞りなど、馴染みのある染色方法です。



▲ 口ウを注ぐとき使います



刺繍（ししゅう）



刺繍糸と刺繍針を使い、布に模様を縫い付けていくことを刺繍といいます。染色と比べ模様に立体感があるのが特徴です。

現在でもクロスステッチ、ビーズステッチ、ブランケットステッチなど、数多くの手法が用いられています。

本館ではインド・グジャラート州のミラー（鏡）刺繡を見ることができます。なぜ鏡なのかというと、鏡には悪をはね返す力があると信じられているためです。

三角や四角にカットした鏡を糸を使って布に縫い付けていきます。

織り（おり）

経糸と緯糸を交互に織って模様を作っていく方法を織りといいます。経緯交差させる順番を変え、異なる色の糸を使うことで模様を作っています。

本館Ⅱ室ではペルーの織機が展示されています。見ていただくと、ペルーの織機は日本のものと形が違うことがわかると思います。

ぜひ、野外展示の山形県月山山麓の家や、沖縄県石垣島の家に展示してある日本の織機と見比べてみてください。



展示家屋紹介 ドイツ バイエルン州の村

ドイツ バイエルン州の村ではクリスマスに合わせ、**クリスマス展示**を開催しています。
今回はクリスマス一色に染まったドイツの家屋について、おさらいしてみましょう！

🎄 家屋紹介① ~ガストホフバイエルンとメルヘンバルト~

ドイツ バイエルン州の村には 2 軒の民家が展示されています。
白壁に描かれた 壁 絵 が 映 えるガストホフバイエルンは、農家を 旅 箬 (宿と食堂を兼ねたもの)に改造した家屋をモデルに復元したもので、石壁に木の 小屋組 をのせる特徴的な建築方法が見られます。

メルヘンバルトは壁絵が描かれた 2 階の壁が青い家屋で 1 階が店舗、2 階が住居となっている街道沿いの 商家 をモデルとして復元したものです。



▲この時期限定の展示をぜひご覧くださいね！

🦌 家屋紹介② ~聖 ゲオルグ 礼拝堂~



▲聖ゲオルグ礼拝堂

キリスト教 14 聖人のひとり、聖ゲオルグをまつた礼拝堂でバロック初期の様式をもちます。
内部には 祭壇 がある 内陣 と天井画のある 身廊 から構成されています。また 23mの高さを持つ 鐘楼 には、長い歴史を持ち伝統的な 鋳造法 を守り伝えてきた、ドイツのパッサウという町にある工場によって実際に 鑄 られた鐘が設置されています。

🦋 ここは見てほしい！ ~フレスコ画の 壁 絵 ~

2 つの家屋の壁と 礼拝 廊内 にはフレスコ画の 壁 絵 が描かれています。これらはそよ風のような手早さで描きあげなければいけないことから風の絵と言われ、ガルミッシュ・パルテンキルヘン周辺に見られる特徴の一つです。リトルワールドのフレスコ画は、下に示した 2 つの技法で描かれています。

ゼッコ・フレスコ



壁に塗った漆喰が乾いた後に、顔料を水ガラスで溶いて漫透させ、丈夫に仕上げる技法で、雨風に強く外壁に適しています。
園内では、二つの家屋の壁で見ることができます。
左の写真はガストホフバイエルンのもので、ビール醸造の神「ガンブリーヌス」や食堂での飲食の様子などが描かれています。

プリマ・フレスコ

壁の漆喰が湿っている間に、顔料を水とともに浸透させる伝統的な技法で、みずみずしく美しい色調が特徴です。
園内の礼拝堂内で、天上の神より祝福を受けるマリアのフレスコ画を見ることができます。（右写真）



リトルワールド 学芸通信⑩(2020年度)



あけましておめでとうございます



2021年もよろしくお願ひいたします！

そんな2021年は丑年。



今回はリトルワールドにいる世界のありがた~いウシをご紹介いたします！



シヴァ神が乗る聖なる白いウシ ナンディー（インドネシア バリ島 貴族の家 祭祀場）



写真の上にいるのがヒンドゥー教の神様、シヴァ。そしてそのシヴァの乗り物である白い牡牛^{おしあし}こそがナンディー（あるいはナンティン）です。

インドではウシは聖なる動物とされていますが、その理由の一つが「シヴァ神の乗り物」であることとなっています。

ナンティーという名前は「幸せなもの」という意味。ぜひ手を合わせて、幸せを願ってみてはいかがでしょうか。

家を守る魔除けのスイギュウ（インドネシア トバ・バタックの家）

トバ・バタックの家、その正面中央に上下に並んでいる顔はスイギュウを表しています。

トバ・バタックにおいてスイギュウは、非常に重要な家畜とされています。農耕や運搬に使うほか、角は酒杯や薬入れに、皮はロープや容器の覆いに、糞は肥料に、乳は飲み物に、肉は重要な儀礼の際に欠かせない食べ物になります。



豊作を祈るちょうちん（台湾 収蔵資料）



こちらは、ふだんは公開されていない収蔵資料。学芸通信限定で特別公開です！

もともとは台湾の旧正月の15日後に行われる「元宵節」で飾られるもの。このお祭りはその年初めての満月の日にもなり、「燈節」とも呼ばれ、豊作を祈るお祭りでもあります。

お寺や家の軒先に動物や花の形のちょうちんを飾りますが、このウシのちょうちんは十二支の丑を表しています。

カレンダーから年越し・お正月を見てみよう！

ほとんどの日本人は大晦日を12月31日、お正月を1月1日に行いますが、世界にはちょっと違った時期に新年を迎えるところがあります。

というのも、文化や宗教によってカレンダー（暦）が、私たちが使っている「グレゴリオ暦」ではない場合があるのです。そのため、カレンダーによって1年の始まりが違う時期になるのです。

このページでは、世界のちょっと違った年末年始を、カレンダーの日付から見ていきましょう♪



1月下旬から2月初旬頃

旧暦のお正月「旧正月」（韓国・中国・中国語圏）



韓国や中国、中国語圏の国々では今のカレンダーが使われる前の、つまり古い暦「旧暦」の日付で、現在でもお正月を祝っています。この旧暦では月を基準に1年の長さを決めたため、私たちが現在使っている太陽を基準としたものと違い、1月下旬から2月の上旬あたりが1年の始まりとなります。

中国語で旧正月は「春節」といいます。リトルワールドの「台湾 農家の家」でもこの時期になると旧正月の装いになるので、ぜひ見に来てくださいね。



2月最終日から3月1日

古代ローマの年越し「ラス・マルサス」（スペイン北部）



私たちが現在使っている「グレゴリオ暦」の元となつたのが、古代ローマで使われていた「ローマ暦」です。かつてローマ暦を使っていましたが、新年の始まりは現在でいう3月から始まりました。

スペイン北部では現在でも「ラス・マルサス（Las Marzas）」という名前でローマ暦の年越しのお祭りが続けられています。人々は夜中に焚火を囲い、その先1年の祝福を願う歌を歌しながら3月を迎えます。これを機に厳しい冬の季節が終わり、草木の芽吹きとともに春が近づいてくるのです。



4月

水かけ祭り「ソンクラーン」（タイ）

タイでは、かつては月の周期を目安とした太陰暦を使っていました。

そうしたいわば「旧暦」のお正月が「ソンクラーン」です。現在でも4月18日から15日にかけて行われていますが、タイではこの時期が最も暑くなるため、水をかける・かけられるにはちょうどいいのかかもしれませんね。

リトルワールドで
「ソンクラーン」を開催したこともあります



〈まだまだあるぞ!? 違う日付のお正月〉

イスラムの人々が使う暦「ヒジュラ暦」や、ヒンドゥー教の「ヒンドゥー暦」、ネパールやチベットの「チベット暦」などでもお正月の日付は違います。

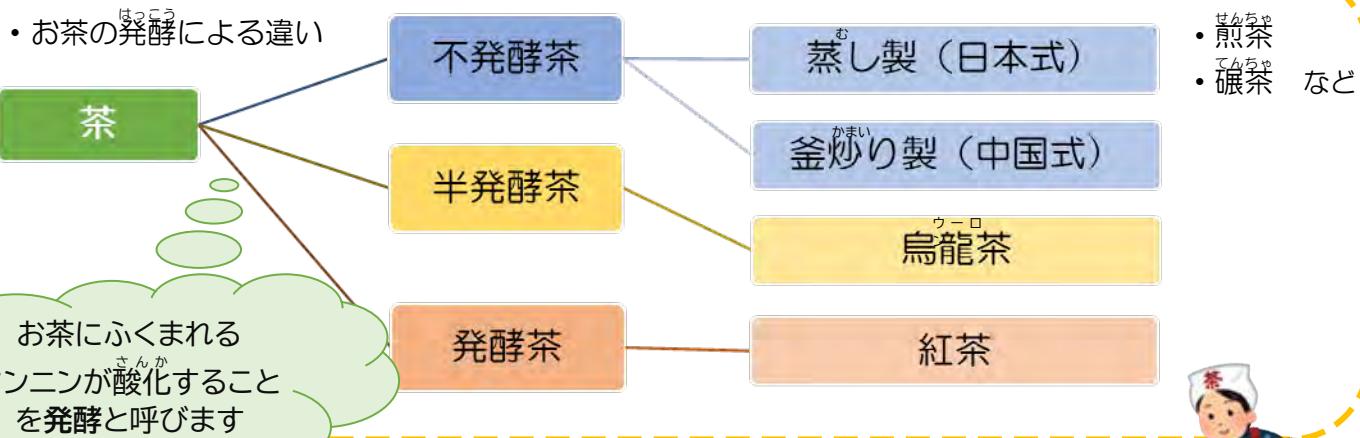
気になる国や文化のお正月を調べてみてみると、新たな発見があるかもしれませんよ！

リトルワールド学芸通信⑪(2020年度)

さむ~い冬は、あったかい飲み物で体を温めて元気に過ごしましょう！

～世界のお茶～

香り・味・色合いが異なるこれらのお茶ですが、原料となる「茶」は一種類しかありません。では、お茶はどのように作られ、飲まれるのでしょうか？



いろいろなお茶の楽しみ方



参考文献

- ・「食材図鑑」、1995年、小学館
- ・「世界食物百科」、1998年、原書房
- ・<https://web-eclair.com/ryokou/2535/>
- ・<https://www.barrel365.com/cocktail/>

2021年お正月にネパール本堂2階を特別公開しました！

普段、2階は壁絵の保存のため公開はしていませんが、2021年正月限定で公開しました！！

1月1日と3日に寒い中たくさんの方がきてくださいました！



★おさらい★ ネパール仏教寺院について

ネパールの仏教寺院は、ネパール東部の標高3000メートルのヒマラヤ山中に位置するタキシンド村のチベット仏教寺院（ニンマ派）をモデルに復元された寺院です。

壁絵は1985年にネパールから仏画絵師を10名ほど呼び、1年以上かけて完成したものです。



▲見学の様子

2階には何があるの？



▲グル・リンポチエと八化身



▲男女合体尊

チベット仏教の開祖であるグル・リンポチエが祀られています（日本で言う空海のような存在です）。その左右上下段にはハ化身（布教の際に変化した8つの姿）が安置されています。壁にはグル・リンポチエの奇跡、男女合体尊などが描かれています。他にもゴンカンという限られた僧のみが朝夕こもって読経する部屋もあります。

豆知識！ 壁の絵はどのように描かれたの？

下絵ではコンパスや定規を使い、鉛筆で肉付けされ、墨で輪郭を描きます。壁の絵は天然の絵の具を用い描かれています。天然の絵の具を使うことで、独特の気品がある、落ち着いた色調になっています。

壁の絵に描かれる仏陀や神々の種類は、本堂一階だけでも200種類以上です。チベット仏教の經典に基づいて正確に描かれています。



▲絵師が壁絵を描く様子

リトルワールド学芸通信⑫（2020年度）

～リトルワールドの中の「花」～

段々と暖かくなってきましたね
今回はリトルワールドの中で花の描かれた展示物や
模様が花のように見える展示物をご紹介します！

本館2室

じゅうたん

中国・新疆ウイグル自治区で
作られたじゅうたん



本館4室

ソ連民俗人形

職業や性別で服装が違うことを
子どもたちに教える木彫りの人形
(オルガン弾き)



ガストホフバイエルン2F アップルワイン壺

リンゴから作られるお酒
「シードル」専用の容器



「花」には人々の伝統や気持ちが込められています
「花」を探しながらその思いに触れてみましょう！



アフリカンプラザ ドレス

ボツワナ共和国で作られた
ヘレロのドレス

